

令和3年6月18日
学 務 課

区立幼稚園のあり方に関する検討状況について

1 検討実施の背景

区立幼稚園については、保護者ニーズの変化に伴う園児数の減少等を踏まえ、平成30年度に「江東区立幼稚園の今後のあり方に関する基本方針」ならびに実施計画を策定したが、策定時の将来推計を上回るペースでの園児数の減少、令和2年度から開始した3歳児保育及び預かり保育への高いニーズを踏まえ、見直しを早急に実施することとした。

2 園児数の将来推計

江東区長期計画における人口推計と近年の園児数の動向を踏まえ、4・5歳の園児数を令和6年度は848人、令和11年度は505人と見直した。

3 検討状況と方向性

「区立幼稚園あり方検討会」における検討をはじめ、長期計画推進委員会行革部会への説明、私立幼稚園協会との意見交換等により、具体的な見直し案の策定を進めている。

(1) 3歳児保育及び預かり保育の実施

今後の保育待機児童数の推移や、3歳児保育に対する保護者ニーズを勘案して、あらたな3歳児保育及び預かり保育の実施について検討している。

(2) 認定こども園への転換

候補園としている大島幼稚園について、園児数の動向や当該地域の保育所待機児童数も考慮しながら、見直しの要否も含めて検討している。

(3) 適正配置の実施

区立幼稚園における望ましい定員充足率を70%として、2の将来推計値から必要園数を算出すると、令和6年度は15園程度、令和11年度は9園程度となる。これを踏まえて、現行計画において廃園が決定している4園に加え、さらなる対象園と廃園時期を検討中である。

(4) 私立幼稚園との連携

就学前教育の充実に向け、区立幼稚園と私立幼稚園との連携を一層強化するとともに、さらなる支援の必要性についても検討していく。

4 今後の予定

引き続き私立幼稚園協会や各関係機関と協議・調整を行いつつ、具体的な見直し案の策定を進め、区民意見募集や保護者等への説明も経て、具体的な方向性を決定していく。